

## みんなも100歳まで生きて

田家フジエさんの100歳をお祝い

田家フジエさんが1月28日、100歳の誕生日を迎え、山内隆文市長がお祝いに畑田の自宅を訪れました。この日に合わせて、長男の実さんや孫などが盛岡市などから駆けつけました。山内市長から「苦勞を感じさせない、心が強いおばあちゃんですね」とねぎらいの言葉とともに、祝い金と祝い状が贈られました。仏壇にコーヒーを供えるのがフジエさんの日課。フジエさんは「皆さんもわたしのように100歳まで生きるようにしてください」と、声を掛けていました。



山内市長と握手するフジエさん(右)

「きっとおいしいので、食べてください」▶と照れくさそうにソバを手渡す中学生と、驚きつつも笑顔でソバを受け取る火石さん(右)  
▼指導を受けながら、慣れた手つきでソバを練る中学生たち



## 手作りソバ届けよう

霜畑中で手作りソバを高齢者宅に配達

霜畑中学校(高橋紀子校長、生徒21人)では2月7日、ソバ打ち体験と一人暮らしの高齢者宅へのソバの配達を行いました。地元の伝統食であるソバの栽培から収穫、そしてこの日のソバ打ちは、総合的な学習の時間を活用してこれまでも続けられてきたもの。この日は、全校生徒が霜畑地区コミュニティセンターに集まり、地元で活動する成谷自然食の会(岩脇ヨシエ会長)の指導でソバ打ちが行われました。

その後、全校生徒が、地域の一人暮らしの高齢者宅15世帯にソバを配達。この活動は、同校生徒会が今年度初めて企画。生徒会長の梶谷駿君(2年)は「地域の方々にも食べてもらい、地域への感謝を伝えたい」と心を込めます。手作りソバをもらった火石京子さん(写真)は「生徒とこういう形で触れ合うのは初めて。素晴らしいですね」と目を細めていました。

## 学生の視点でまちづくり

産学官連携フォーラムを開催

さまざまな分野で連携して地域の活性化を目指そうという産学官連携フォーラムは1月23日、高校生や関係者など約140人が参加して、市内のホテルで開催されました。岩手県立大学3年で、NPO法人学生ビジネスティイワて理事長を務める佐々木正人さんは、学生の視点から商店街活性化について提案し、「駐車場がないことを言い訳にしないで。大型店を敵視せず、協力する方法を考えよう」などと指摘。また、「地元の方が気付かない面白さを見つけよう」と訴えました。



学生の視点からまちづくりを提案する佐々木理事長

## 小正月に神楽を披露

夏井公民館で小正月行事を開催



地域住民が見守る中、勇壮な舞を披露しました

夏井公民館の小正月行事は1月27日、同館で開催されました。同町振興協議会(播磨孝則会長)など地域の方々や小中学生など約100人が参加し、世代間交流を楽しみました。夏井中学校で栽培したもち米17キロを使ってのもちつき、みずきだんご飾りに続き、夏井大梵天神楽(県指定無形民俗文化財)の披露が行われ、権現舞、中学生による御神楽舞(鳥舞)が行われました。

「毎年参加しているが、子どもたちには、こういった経験を通して、地域に伝わる行事を知ってほしい」と、高砂スポーツ少年団代表の西川一弘さん。参加者たちは、郷土料理を食べながら地域の昔話や小正月行事の由来などを話し、交流を深めていました。

## ケッツすべりスリル満点

平庭高原スキー場まつり開催

平庭高原スキー場まつりは2月9日、開催されました。青空が広がり、絶好のまつり日和となったこの日は、市内外からたくさんの家族連れなどが訪れ、にぎわいました。毎年恒例となったもちまきや宝探しのほか、ごみ袋をそり代わりにして滑るケッツすべり選手権、たこ揚げ大会などたくさんのイベントが開かれました。ケッツすべり選手権の小学生の部で優勝した中村康寛君(葛巻小5年)は「足が付かないように気を付けた。来年も優勝したい」と笑顔を広げていました。

夜は雰囲気が一変。たいまつを持ったスキーヤーが真っ赤な曲線を描くたいまつ滑走や花火の打ち上げが行われ、幻想的な雰囲気を作り出していました。



大の大人も童心に帰るケッツすべり選手権

## 効果的な練習法学ぶ

三船十段記念館で柔道技術講習会



指導に真剣に耳を傾ける参加者たち

久慈管内の柔道のレベルアップを図ろうと、久慈柔道技術講習会が1月27日、久慈管内の中学生から一般まで約120人が参加して三船十段記念館で行われました。講師は、本市出身で、昭和56年世界柔道選手権大会65kg級優勝の柏崎克彦さん(現国際武道大学体育学部教授)、佐々木伸次朗さん(平成19年環太平洋柔道選手権大会60kg級優勝)の2人。講習は、立ち技や寝技の掛け方や受け方、効果的な練習方法などを中心に行われました。参加した本波真維さん(久慈東高2年)、畠山美志さん(同)は「一人一人を回って丁寧に教えてくれて、わかりやすかった。教わったことを早速実践していきたい」と話していました。

## 心豊かな生活へ一丸

久慈市民大会と生涯学習の集いを開催

久慈市民大会と市民生涯学習の集いは2月9日-10日、アンバーホールで行われました。市民大会では、交通安全や防犯、環境衛生のほか、生涯学習に励んだ方への表彰が行われ、87人の個人と19団体が受賞しました。山内隆文市長が「各分野の先駆者としての活動に感謝するとともに、今後も、連携・協働のまちづくりを期待する」とお祝い。久慈東高2年で生徒会長の大芦圭央さんが「心豊かな生活ができるよう一丸となって取り組みます」と大会決議を読み上げました。



山内市長らから表彰状が授与されました